

全建総連賃金実態調査（2014 年 5 月～7 月）の結果について

2015 年 2 月 26・27 日

55 期第 3 回中央執行委員会

賃金対策部

2014 年 5 月～7 月を調査期間とした全建総連賃金実態調査は、37 県連・組合からエクセル形式で提供頂いた 11 万 2,700 件のデータ（2013 年調査、9 万 5,119 件）を元に最終的な集計結果をまとめました。

大工職と各職で分類し、「町場・工務店現場」、「地元住販・不動産会社などの建売現場」、「大手プレハブ、住宅会社の現場」、「ゼネコンの野丁場の現場」の 4 つの現場形態で、就労日数、労働時間、賃金、昨年の年収などの平均をとりました。

昨年の賃金調査では、1 日の賃金平均はほぼ同額、あるいは減少という結果で、2 年連続で引き上げられた設計労務単価も技能労働者不足の状況も、仲間の賃金にほとんど反映していない実態が明らかになりました。こうした状況を打開するため、全建総連の組合は全国で賃金引き上げの集会や行動に取り組み、また消費税引き上げのなかで、今年こそ「大幅引き上げ」が期待されていました。

全国平均、大工職（常用・手間請）は、「ゼネコンの野丁場の現場」で 847 円（5.84%）上昇し 1 万 5,354 円に。大工職（一人親方）は、「大手プレハブ、住宅会社の現場」で 898 円（5.95%）上昇し 1 万 5,985 円、「ゼネコンの野丁場の現場」で 1,428 円（10.00%）上昇の 1 万 5,701 円に

全国集計から、大工職（一人親方）で全ての丁場で上昇、大工職（常用・手間請）も野丁場の現場で上昇が見られました。その一方で、各職（常用・手間請）で野丁場以外が減少に、各職（一人親方）も建売りの現場で減少という結果になりました。

高齢や見習工と思われる組合員には、極端な賃金額や労働日数が見られることから、25 歳から 64 歳までのデータ（8 万 2,831 件）に絞った結果について検討しました。

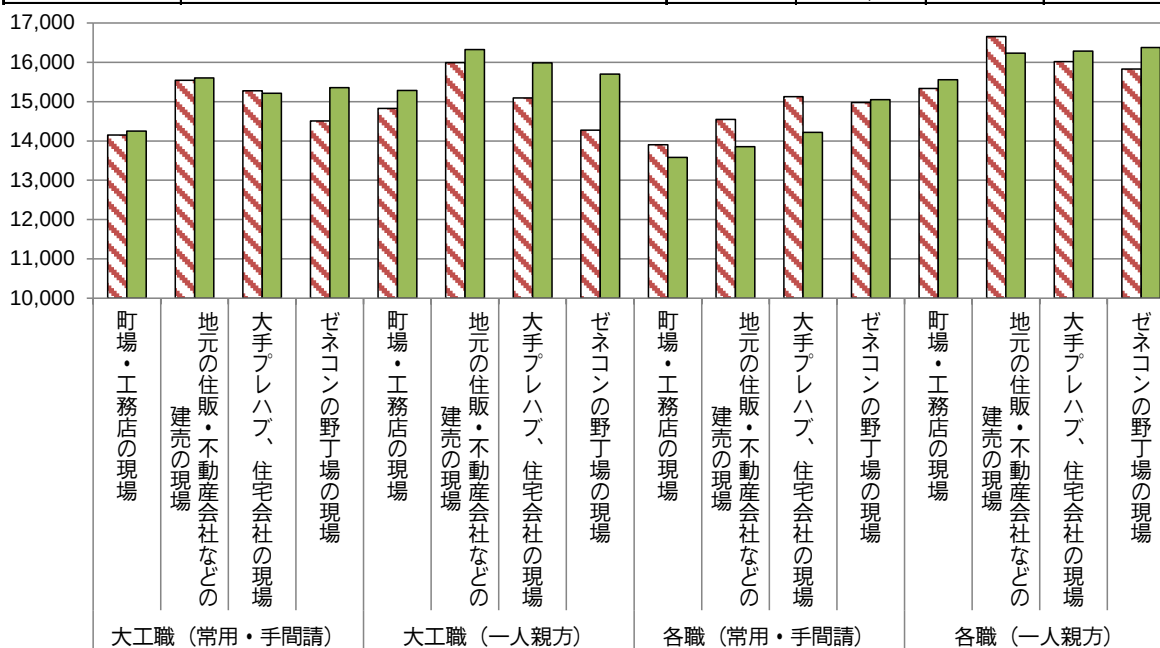
大工職（常用・手間請）の全現場での平均賃金は 1 万 4,723 円で、昨年の 1 万 4,517 円より 206 円（1.42%）の微増ですが、「ゼネコンの野丁場の現場」に限れば、昨年の 1 万 4,507 円から 1 万 5,354 円に、847 円（5.84%）上昇しています。

また、大工職（一人親方）では、「大手プレハブ、住宅会社の現場」で 1 万 5,087 円から 1 万 5,985 円に 898 円（5.95%）上昇、「ゼネコンの野丁場の現場」では 1 万 4,273 円から 1 万 5,701 円に 1,428 円（10.00%）と大きな上昇が見られます。

一方、各職（常用・手間請）の賃金では、「大手プレハブ、住宅会社の現場」で、15,121 円から 14,217 円と▲904 円（▲5.98%）の減少が、「地元の住販・不動産会社などの建売の現場」でも、14,541 円から 13,853 円に▲688 円（▲4.73%）の減少が見られます。

1 日の賃金

全国集計		2013年	2014年	前年比	
職種\集計数(全職種)		67,615	82,831	金額	%
大工職(常用・手間請)	町場・工務店の現場	14,149	14,250	101	0.71
	地元の住販・不動産会社などの建売の現場	15,538	15,603	64	0.42
	大手プレハブ、住宅会社の現場	15,272	15,214	▲ 59	▲ 0.38
	ゼネコンの野丁場の現場	14,507	15,354	847	5.84
大工職(一人親方)	町場・工務店の現場	14,825	15,283	458	3.09
	地元の住販・不動産会社などの建売の現場	15,986	16,321	335	2.10
	大手プレハブ、住宅会社の現場	15,087	15,985	899	5.95
	ゼネコンの野丁場の現場	14,273	15,701	1,428	10.00
各職(常用・手間請)	町場・工務店の現場	13,904	13,578	▲ 325	▲ 2.34
	地元の住販・不動産会社などの建売の現場	14,541	13,853	▲ 688	▲ 4.73
	大手プレハブ、住宅会社の現場	15,121	14,215	▲ 906	▲ 5.99
	ゼネコンの野丁場の現場	14,971	15,047	77	0.51
各職(一人親方)	町場・工務店の現場	15,330	15,553	223	1.45
	地元の住販・不動産会社などの建売の現場	16,646	16,234	▲ 413	▲ 2.48
	大手プレハブ、住宅会社の現場	16,010	16,282	272	1.70
	ゼネコンの野丁場の現場	15,824	16,375	551	3.48



「賃金額を上げた」事業主は、大工・工務店で 6.9 ポイント上昇し 21.08%。各職では 7.7 ポイント上昇し 27.83%に

事業主（大工・工務店）では、「今年に入って賃金額を上げた」の回答が、昨年の 408 人（有効回答中 14.20%）から 736 人（同 21.08%）に増加しています。

各職（常用・手間請）の賃金が、「大手プレハブ、住宅会社の現場」、「地元の住販・不動産会社などの建売の現場」で減少となったものの、事業主（各職）の回答では、2,883 人（27.83%）が「今年に入って賃金額を上げた」としており、昨年の 1,418 人（20.10%）より増え、大工・工務店の回答を上回っています。

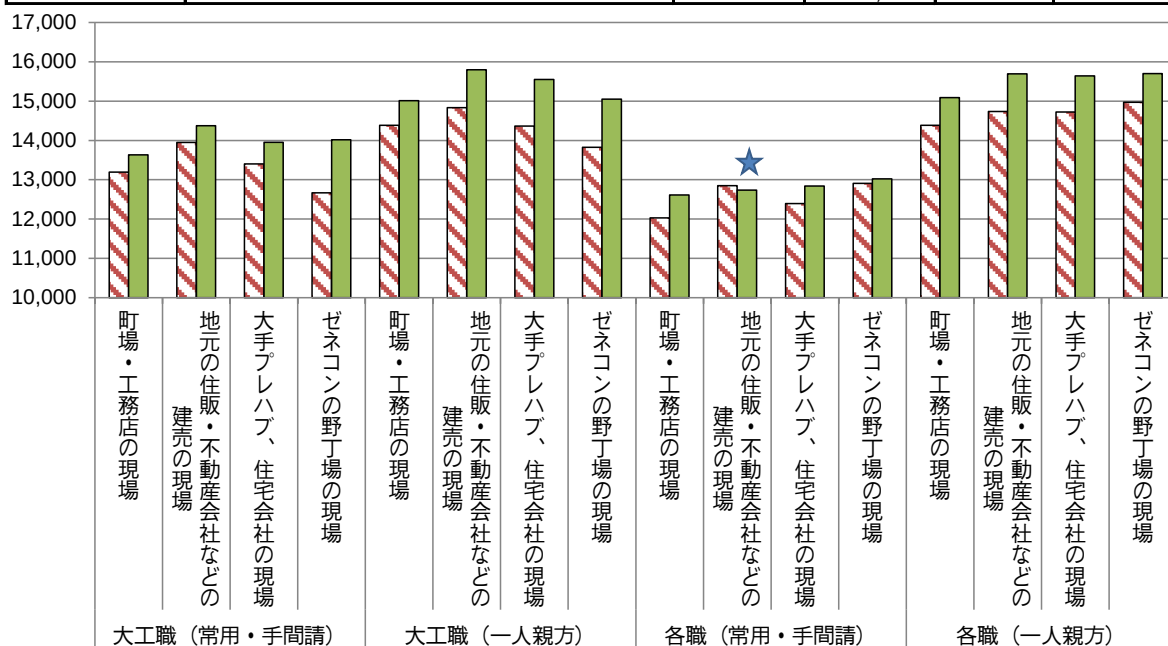
首都圏以外の地域で、賃金の上昇傾向が明らかに

依然として、首都圏（東京、埼玉、千葉、神奈川の1都3県）と、それ以外の地域で賃金差があることから、それぞれについて集計結果を見ると、首都圏以外の地域で賃金の上昇傾向が明らかです。

「ゼネコンの野丁場の現場」で大工職（常用・手間請）が1,348円（10.64%）上昇、大工職（一人親方）も1,231円（8.90%）上昇しているのが特徴的です。「地元の住販・不動産会社などの建売の現場」では各職（常用・手間請）が▲114円（▲0.89%）と唯一減少でしたが、各職（一人親方）は955円（6.48%）の上昇です。

1日の賃金

首都圏以外 集計数(全職種)		2013年	2014年	前年比	
		39,075	55,585	金額	%
大工職(常用・手間請)	町場・工務店の現場	13,191	13,633	442	3.35
	地元の住販・不動産会社などの建売の現場	13,945	14,376	431	3.09
	大手プレハブ、住宅会社の現場	13,400	13,952	551	4.11
	ゼネコンの野丁場の現場	12,669	14,017	1,348	10.64
大工職(一人親方)	町場・工務店の現場	14,384	15,011	627	4.36
	地元の住販・不動産会社などの建売の現場	14,830	15,794	963	6.50
	大手プレハブ、住宅会社の現場	14,363	15,548	1,186	8.25
	ゼネコンの野丁場の現場	13,822	15,052	1,231	8.90
各職(常用・手間請)	町場・工務店の現場	12,030	12,615	585	4.86
	地元の住販・不動産会社などの建売の現場	12,850	12,735	▲114	▲0.89
	大手プレハブ、住宅会社の現場	12,391	12,842	451	3.64
	ゼネコンの野丁場の現場	12,906	13,020	115	0.89
各職(一人親方)	町場・工務店の現場	14,383	15,091	708	4.92
	地元の住販・不動産会社などの建売の現場	14,735	15,690	955	6.48
	大手プレハブ、住宅会社の現場	14,719	15,640	921	6.25
	ゼネコンの野丁場の現場	14,969	15,696	726	4.85



首都圏の「ゼネコンの野丁場の現場」で上昇

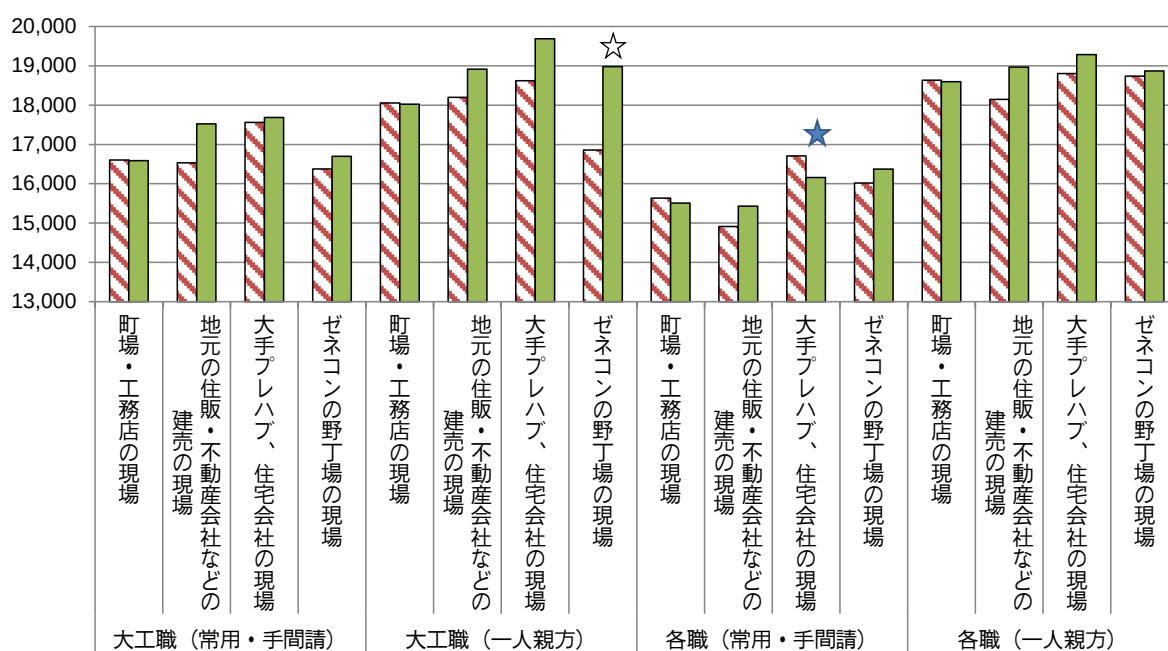
首都圏（東京、埼玉、千葉、神奈川の1都3県）のデータでも、「ゼネコンの野丁場の現場」で、大工職（一人親方）が2,125円（12.61%）と大きく上昇。一方、「町場・工務店の現場」では、大工・各職、職人・一人親方のすべてで微減となりました。

「大手プレハブ、住宅会社の現場」では各職（常用・手間請）が▲545円（▲3.26%）の減少でしたが、大工職（一人親方）では1,068円（5.73%）上昇しています。

大工職では、一人親方の賃金上昇が首都圏でより強く表れており、「人手不足」の状況と「一人親方」獲得の動きが強まったとも思われます。

1日の賃金

首都圏		2013年	2014年	前年比	
集計数(全職種)		28,540	27,246	金額	%
大工職(常用・手間請)	町場・工務店の現場	16,601	16,588	▲13	▲0.08
	地元の住販・不動産会社などの建売の現場	16,528	17,521	994	6.01
	大手プレハブ、住宅会社の現場	17,559	17,684	125	0.71
	ゼネコンの野丁場の現場	16,374	16,696	323	1.97
大工職(一人親方)	町場・工務店の現場	18,053	18,025	▲28	▲0.15
	地元の住販・不動産会社などの建売の現場	18,195	18,915	720	3.96
	大手プレハブ、住宅会社の現場	18,617	19,684	1,068	5.73
	ゼネコンの野丁場の現場	16,856	18,980	2,125	12.61
各職(常用・手間請)	町場・工務店の現場	15,632	15,507	▲124	▲0.80
	地元の住販・不動産会社などの建売の現場	14,916	15,433	517	3.47
	大手プレハブ、住宅会社の現場	16,706	16,161	▲545	▲3.26
	ゼネコンの野丁場の現場	16,019	16,370	351	2.19
各職(一人親方)	町場・工務店の現場	18,626	18,598	▲28	▲0.15
	地元の住販・不動産会社などの建売の現場	18,144	18,968	825	4.55
	大手プレハブ、住宅会社の現場	18,799	19,287	488	2.59
	ゼネコンの野丁場の現場	18,731	18,868	137	0.73



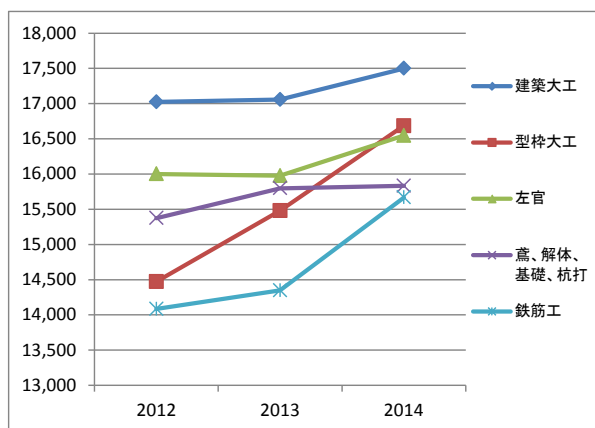
首都圏では型枠大工と鉄筋工の上昇が顕著

職種別の集計結果を見ると、大工、型枠、鳶、鉄筋、左官の5職種のうち、首都圏では、型枠大工と鉄筋工の上昇が顕著で、鳶については変化が見られません。首都圏以外では、鉄筋工を除いて同様の上昇傾向が見られます。それぞれ、技能労働者不足の状況に加えて、業界としての取り組みも一定反映したものと推察できます。しかし、賃金水準は依然として設計労務単価に及びません。

職種別賃金（常用・手間請、一人親方）推移

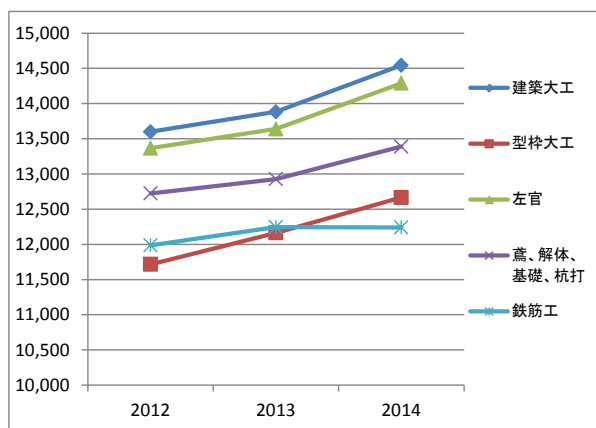
首都圏（東京、埼玉、千葉、神奈川の1都3県）

職種	2012	2013	2014	前年比	%
建築大工	17,023	17,056	17,498	442	2.59
型枠大工	14,473	15,480	16,687	1,207	7.80
左官	16,001	15,976	16,546	570	3.57
鳶、解体、基礎、杭打	15,373	15,798	15,833	35	0.22
鉄筋工	14,084	14,347	15,668	1,321	9.21



首都圏以外

職種	2012	2013	2014	前年比	%
建築大工	13,599	13,884	14,544	660	4.75
型枠大工	11,717	12,164	12,666	502	4.13
左官	13,367	13,639	14,288	649	4.76
鳶、解体、基礎、杭打	12,724	12,927	13,389	462	3.57
鉄筋工	11,987	12,246	12,241	-5	-0.04



型枠、鳶、鉄筋、左官4職種の詳細データ

職種や就労形態、現場によって減少も見られ、要因については別途分析が必要ですが、全体としては上昇傾向にあり、型枠大工、鉄筋工については「大手プレハブ、住宅現場」、「ゼネコンの野丁場の現場」で、1000円～2000円の増加傾向といえます。

型枠大工		首都圏				首都圏以外			
		2013年	2014年	前年比		2013年	2014年	前年比	
集計数（型枠大工）		321	404	金額	%	297	678	金額	%
常用・手間請	町場・工務店の現場	14,226	14,911	685	4.82	11,720	12,148	428	3.65
	地元の住販・不動産会社などの建売の現場	14,858	16,973	2,115	14.23	11,908	11,009	▲899	▲7.55
	大手プレハブ、住宅会社の現場	15,437	15,063	▲374	▲2.42	10,822	11,126	304	2.81
	ゼネコンの野丁場の現場	15,212	16,803	1,590	10.45	11,618	12,174	556	4.78
一人親方	町場・工務店の現場	19,500	19,000	▲500	▲2.56	13,710	14,655	945	6.89
	地元の住販・不動産会社などの建売の現場	18,125	18,000	▲125	▲0.69	11,700	12,923	1,223	10.45
	大手プレハブ、住宅会社の現場	17,000	18,000	1,000	5.88	13,800	13,883	83	0.60
	ゼネコンの野丁場の現場	19,625	19,619	▲6	▲0.03	12,311	13,887	1,576	12.80

鳶、解体、基礎、杭打		首都圏				首都圏以外			
		2013年	2014年	前年比		2013年	2014年	前年比	
集計数(鳶、解体、基礎、杭打)		793	951	金額	%	1,045	1,058	金額	%
常用・手 間請	町場・工務店の現場	15,407	15,157	▲250	▲1.62	11,806	12,282	477	4.04
	地元の住販・不動産会社などの 建売の現場	13,999	14,314	314	2.25	11,055	12,367	1,312	11.87
	大手プレハブ、住宅会社の現場	15,191	15,441	250	1.64	12,317	12,160	▲157	▲1.27
	ゼネコンの野丁場の現場	16,531	15,746	▲784	▲4.74	12,439	12,884	444	3.57
一人親方	町場・工務店の現場	17,484	17,090	▲394	▲2.25	14,671	14,512	▲159	▲1.08
	地元の住販・不動産会社などの 建売の現場	15,684	18,513	2,829	18.04	13,211	15,120	1,910	14.46
	大手プレハブ、住宅会社の現場	16,957	16,633	▲324	▲1.91	13,550	15,390	1,840	13.58
	ゼネコンの野丁場の現場	18,306	16,720	▲1,586	▲8.66	13,786	14,927	1,141	8.28

鉄筋		首都圏				首都圏以外			
		2013年	2014年	前年比		2013年	2014年	前年比	
集計数(鉄筋)		165	173	金額	%	213	345	金額	%
常用・手 間請	町場・工務店の現場	15,223	15,846	623	4.09	12,688	12,627	▲62	▲0.49
	地元の住販・不動産会社などの 建売の現場	13,811	14,853	1,042	7.54	14,500	12,952	▲1,548	▲10.67
	大手プレハブ、住宅会社の現場	14,377	16,375	1,998	13.90	11,400	11,954	554	4.86
	ゼネコンの野丁場の現場	14,398	15,597	1,199	8.33	11,785	11,806	21	0.18
一人親方	町場・工務店の現場	15,000				12,354	12,034	▲319	▲2.59
	地元の住販・不動産会社などの 建売の現場	14,875	14,000	▲875	▲5.88	12,873	14,250	1,377	10.70
	大手プレハブ、住宅会社の現場					11,250	13,571	2,321	20.63
	ゼネコンの野丁場の現場	15,800	18,444	2,644	16.74	12,663	14,306	1,643	12.97

左官		首都圏				首都圏以外			
		2013年	2014年	前年比		2013年	2014年	前年比	
集計数(左官)		715	630	金額	%	1,639	2,014	金額	%
常用・手 間請	町場・工務店の現場	16,018	15,850	▲168	▲1.05	12,966	13,336	371	2.86
	地元の住販・不動産会社などの 建売の現場	15,379	15,590	211	1.37	12,537	13,546	1,009	8.04
	大手プレハブ、住宅会社の現場	15,662	15,655	▲6	▲0.04	12,265	13,444	1,179	9.62
	ゼネコンの野丁場の現場	15,221	15,865	645	4.24	12,633	13,547	914	7.23
一人親方	町場・工務店の現場	17,916	18,176	260	1.45	14,608	15,009	401	2.75
	地元の住販・不動産会社などの 建売の現場	16,968	21,632	4,664	27.49	14,407	16,220	1,813	12.58
	大手プレハブ、住宅会社の現場	17,017	20,307	3,290	19.34	14,144	14,750	606	4.28
	ゼネコンの野丁場の現場	14,938	15,694	757	5.07	13,529	14,079	550	4.07

回答数の多かった5職種について

あわせて、回答数の多かった5職種について、賃金（常用・手間請、一人親方）の推移を首都圏とそれ以外に分けてグラフにしました。首都圏での空調・給排水配管工を除いて、概ね上昇傾向にあります。とくに、首都圏以外の地域で2013年に比べて2014年の上昇幅が大きいことがわかります。

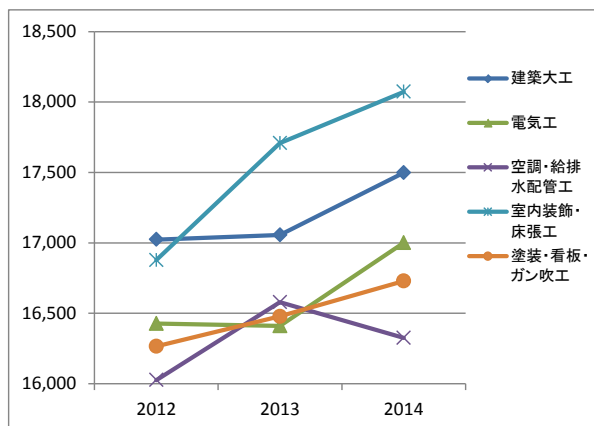
首都圏（東京、埼玉、千葉、神奈川の1都3県）

職種	2012	2013	2014	前年比	%
建築大工	17,023	17,056	17,498	442	2.59
電気工	16,427	16,410	17,001	591	3.60
空調・給排水 配管工	16,026	16,579	16,325	-254	-1.53
室内装飾・床 張工	16,877	17,708	18,073	365	2.06
塗装・看板・ ガン吹工	16,266	16,479	16,730	251	1.52

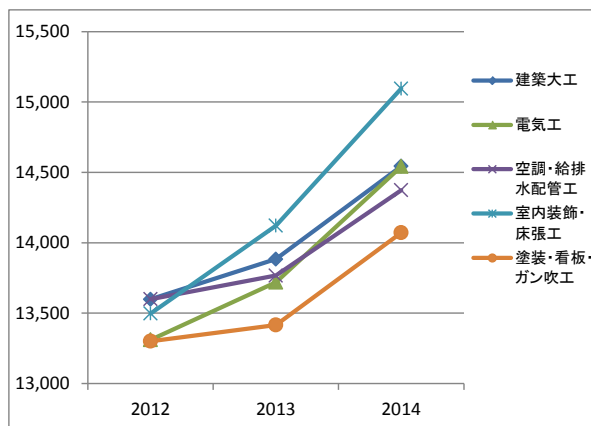
首都圏以外

職種	2012	2013	2014	前年比	%
建築大工	13,599	13,884	14,544	660	4.75
電気工	13,311	13,720	14,542	822	5.99
空調・給排水 配管工	13,600	13,767	14,374	607	4.41
室内装飾・床 張工	13,498	14,122	15,095	973	6.89
塗装・看板・ ガン吹工	13,301	13,416	14,072	656	4.89

首都圏（東京、埼玉、千葉、神奈川の1都3県）



首都圏以外

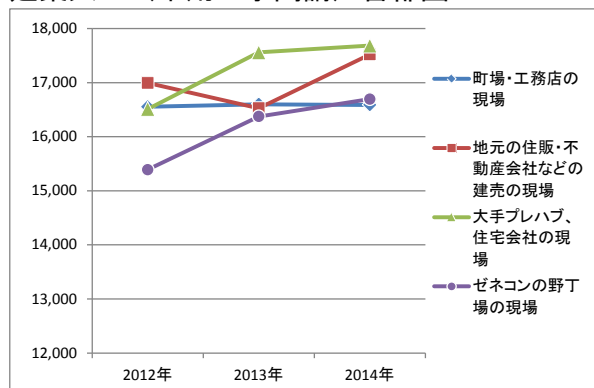


就労現場の違いによる職種別の賃金推移

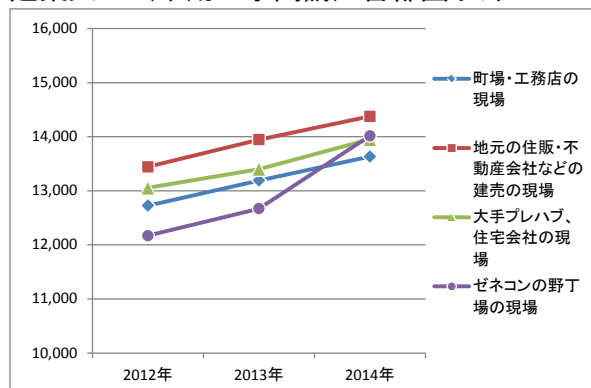
同じ職種であっても、就労現場によって賃金の推移に特徴があり、また、首都圏と首都圏以外の地域で異なる傾向が見られます。

建築大工では、首都圏以外の地域でどの現場でも上昇が明らかですが、首都圏の町場・工務店では変化がありません。型枠大工は首都圏の「地元住販・建売現場」、「ゼネコン・野丁場の現場」で大きな上昇がみられますが、首都圏以外の地域では「地元住販・建売現場」、「住宅会社の現場」で減少といった違いが見られます。

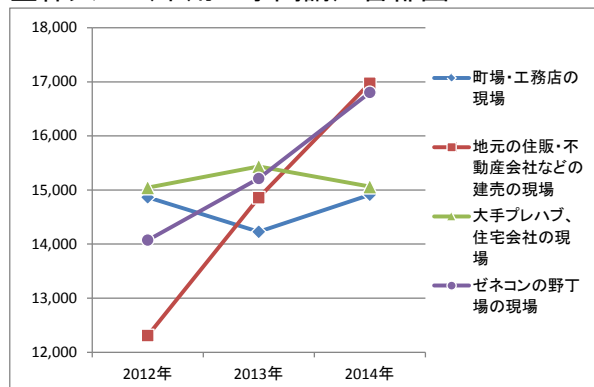
建築大工（常用・手間請）首都圏



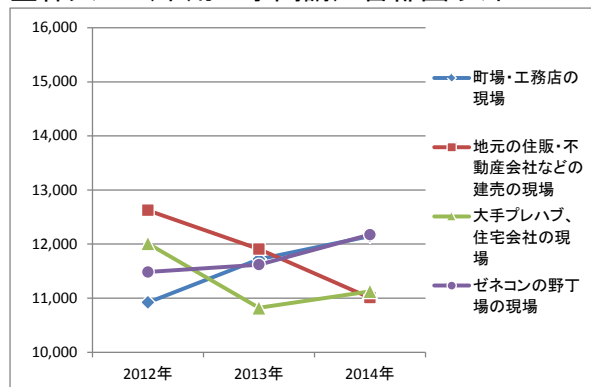
建築大工（常用・手間請）首都圏以外



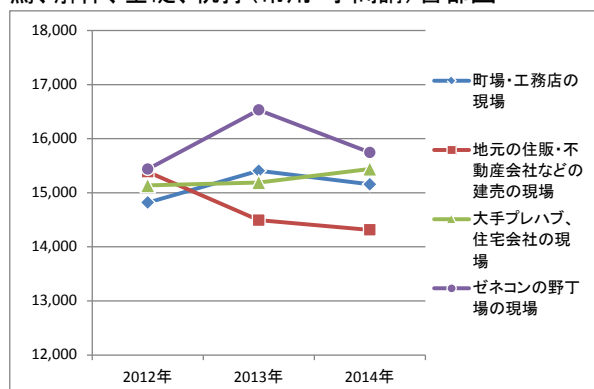
型枠大工（常用・手間請）首都圏



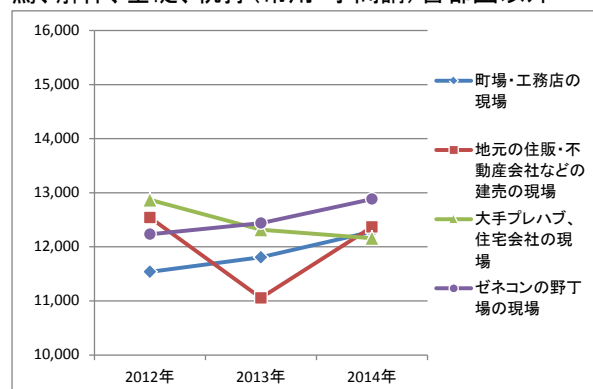
型枠大工（常用・手間請）首都圏以外



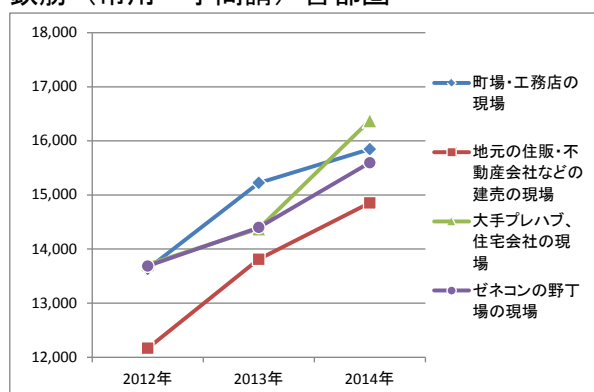
鳶、解体、基礎、杭打(常用・手間請) 首都圏



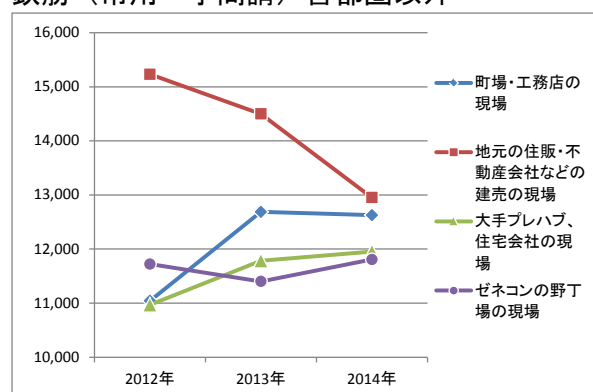
鳶、解体、基礎、杭打(常用・手間請) 首都圏以外



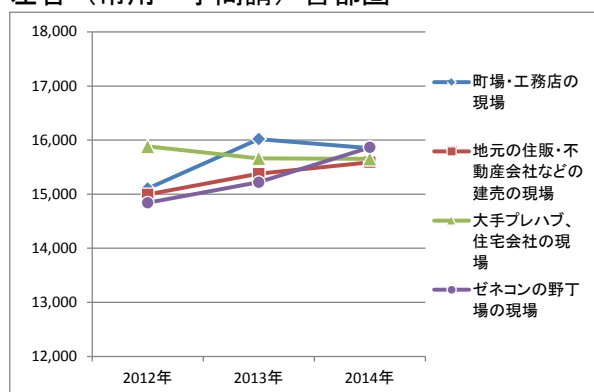
鉄筋(常用・手間請) 首都圏



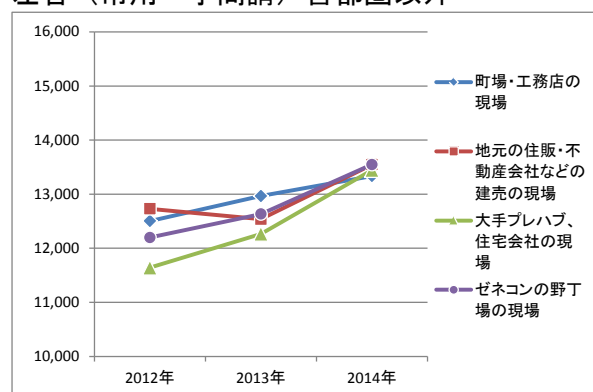
鉄筋(常用・手間請) 首都圏以外



左官(常用・手間請) 首都圏



左官(常用・手間請) 首都圏以外

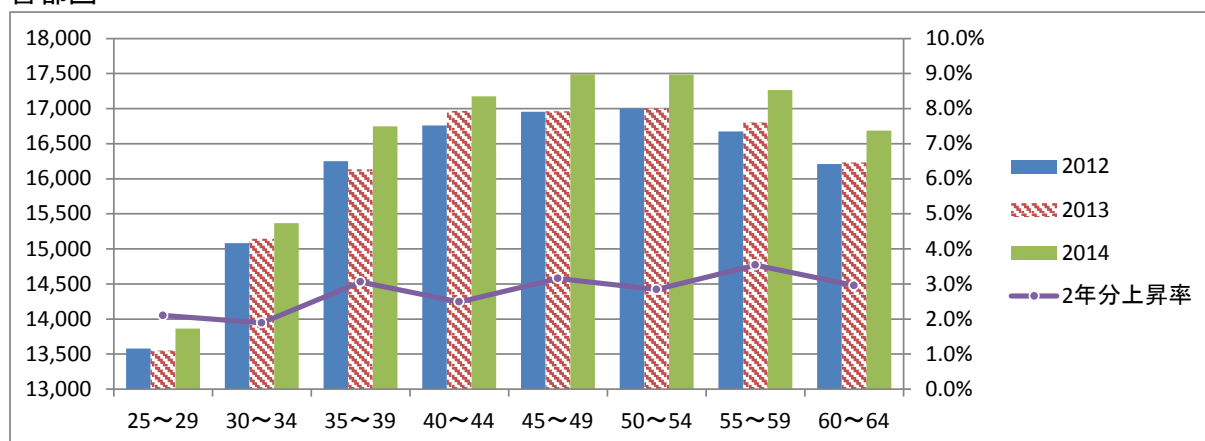


鉄筋は首都圏では、どの現場でも大きく上昇していますが、首都圏以外の地域では、建売り現場で大きく減少（但し、2012年の額が相対的に高いので検証が必要）しており、その他の現場では2014年に大きな変化は見られません。左官についても職人不足がいわれており、首都圏以外の地域で上昇傾向がより明らかです。

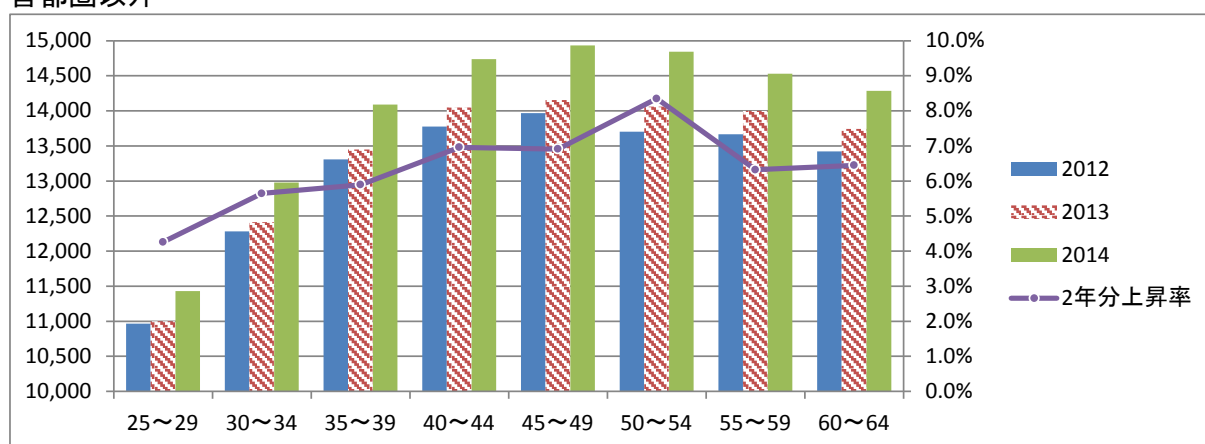
賃金上昇の中心は45～50歳代

技能労働者の処遇改善とともに、若年入職者の確保と育成が、業界に共通した課題ですが、年齢別の平均賃金の推移と労務単価が大幅改定されてから2年分の賃金上昇率をグラフにすると、賃金上昇が45～59歳と熟練者を中心としたもので、若年者の賃金改善にまで届いていないことが分かります。

全職種・丁場、全階層（常用・手間請、一人親方）年齢別賃金推移
首都圏



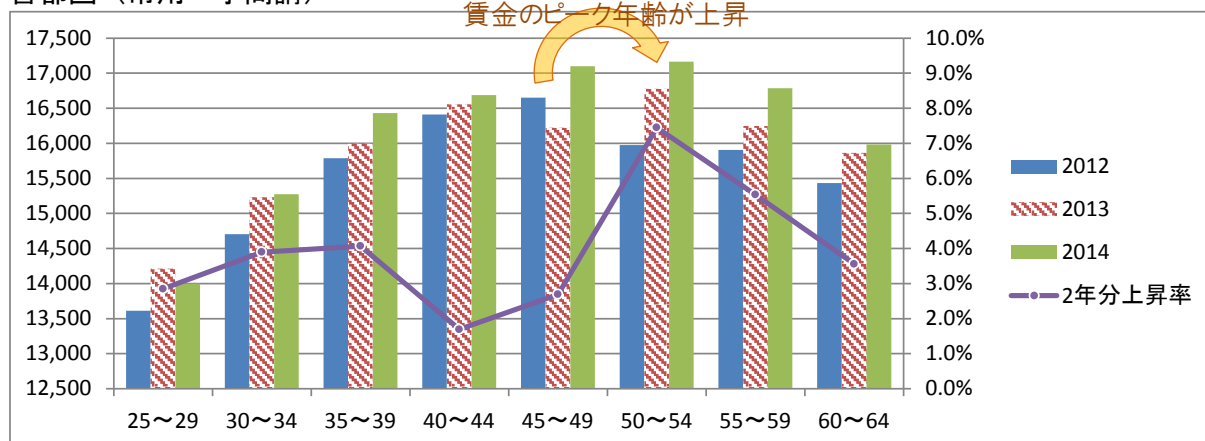
首都圏以外



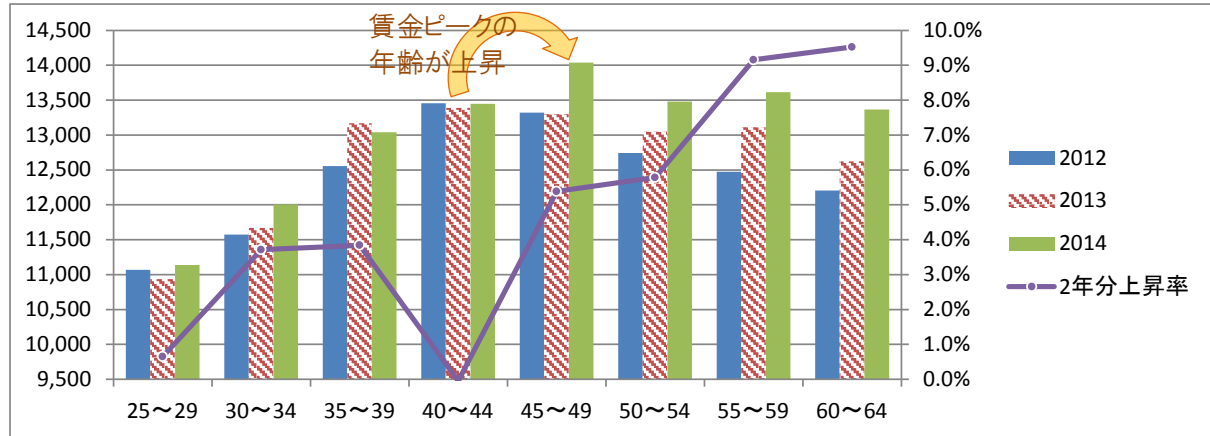
この間、50歳以上の賃金が切り下げられてきた状況もあり、また、技能工不足の状況で熟練者を確保してきたとも推測できます。

こうした傾向は、「ゼネコンの野丁場の現場」に象徴的に表れており、賃金のピークが首都圏では45～49歳から50～54歳に、首都圏以外でも40～44歳から45～49歳に移っています。2012年から40歳代を中心に賃金の上昇は僅かで、上の年齢層での賃金上昇が大きく、若い層でも充分ではないものの賃金は上昇しています。

ゼネコンの野丁場の現場、全職種（常用・手間請）年齢別賃金推移
首都圏（常用・手間請）



首都圏以外（常用・手間請）



2014年の賃金調査の結果は、深刻な技能労働者不足の状況や設計労務単価引き上げ、全建総連と県連・組合の運動をはじめ、業界をあげての技能労働者の処遇改善、若年入職者の確保に向けた動きなどを一定反映したものとなりました。

しかし、賃金の上昇は職種や就労先、地域などによって大きな隔たりがあり、その額も十分なものではありません。引き続き、すべての職種、就労先、地域で適正な賃金を獲得するため、さらに運動を強める必要があります。

とくに、若年層、子育て世代の賃金が大きく上がっていないことから、建設産業の未来にかかわる重要な課題として、技能労働者の入職促進と定着に向けた環境づくりに、団体の枠を超えた取り組みが求められます。